

We
Love

ち い き



平成 29 年度 地域枠等全学年交流会を開催しました。

活動報告/地域医療支援学講座の主な取り組み報告

【リレートーク第 21 回】浜田市国保診療所連合体 あさひ診療所 所長 佐藤 誠氏

9/29 平成 29 年度地域枠等全学年交流会を開催しました。

【日時】9月29日（金）19：00～21：00

【場所】出雲ロイヤルホテル 高砂の間

【参加者】65名（学生53名、その他12名）

【概要】学年の垣根を取り払って地域枠等の全学年で集まりたいとの声上がり、今年で3回目となる地域枠等全学年交流会を開催しました。今年度も6年生が主催し、これまでの地域枠等の卒業生に広く声をかけ、先輩医師の話聞く機会を持つ等、6年生有志で話し合い、より一層盛り上がる会となりました。去年に引き続き、学年ごとのメンバー紹介では、笑いのこぼれる場面もありました。回を重ねるごとに学年を越えた地域枠等学生の交流がより深まったように感じました。今後も継続実施し、益々盛大な会へと育て上げ、縦横の絆を強いものにしていきたいと思います。



総合診療医育成ネットワーク

平成23年6月に専門医育成プログラムを持つ医療機関を中心に、総合診療育成の取り組みを開始してから今年で7年目になります。

来年度から新たな専門医制度の中の基本領域の1つとして、総合診療専門医ができることになりました。島根県内には、9つの特徴あるプログラムがあります。実施施設は、津和野共存病院、浜田市国保診療所群、済生会江津総合病院、仁寿会加藤病院、島根大学附属病院、島根県立中央病院、出雲市民病院、雲南市立病院、松江生協病院です。詳細を知りたい方は、地域医療支援学まで連絡してください。

総合診療専門医説明会を開催しました。

【日時】9月18日（月）14：00-17：30

【場所】島根大学医学部みらい棟4Fギャラクシー

【概要】第1部は講演会、第2部は総合診療専門医プログラムに参加している9病院的担当者が、研修内容について説明を行いました。

第1部の講演会は、島根大学医学部附属病院卒後臨床研修センター、助教和足孝之先生に講演いただきました。今後、総合診療専門医が増えていく背景、そして総合診療専門医の魅力について、熱く語っていただきました。

第2部は病院ごとにブースを設け、総合診療医育成ネットワークの9つのプログラムについてポスター展示し、各病院の担当者が研修内容の詳細について説明し、参加者からの質問等へ対応していただきました。

どのプログラムも各病院の先生方の思いが詰まった内容になっており、どのコースを選択しても、総合診療専門医プログラムとして満足できる素晴らしい研修内容でした。



夏季地域医療実習意見交換会

【日時】平成 29 年 8 月 18 日（金）11：00～14：15

【参加者】合計 25 名（医学生 18 名）

【概要】8/15～8/17 の期間に、島根県内各圏域の保健所、医療機関に協力いただき、夏季地域医療実習を行いました。8/18 には実習へ参加した医学生、また、保健所や医療機関の担当者にも参加いただき、夏季地域医療実習報告会を開催しました。

3 つのテーマ「実習で一番印象に残った体験は？」「島根の地域医療の良いところ、課題は？」「島根の地域医療の改善策は？」に沿って話し合いました。実習で得たものについて学びを深め高めあう機会となりました。また、テーマごとにグループを変更し、様々な圏域に行った学生同士の親睦も深めることができました。ご協力いただきました関係機関の方々、本当にありがとうございました。



地域医療セミナー

7/12

【日時】7月12日（水）18：00～19：30

【場所】島根大学医学部みらい棟 2F 共通カンファレンス

【講師】山口 拓也先生（医療法人仁寿会 加藤病院 神経内科）

【テーマ】川本町における在宅医療の現状と課題

【概要】川本町の加藤病院の山口拓也医師をお招きし、地域医療セミナーを行いました。在宅医療を実践され、患者さんおひとりおひとりに、きめ細やかなカンファレンス等で対応されてきました。学生からは、「地域住民が、学生による地域医療への取り組みで希望されていることはどんなことがありますか。」「患者さんに寄り添う医師って、どんな医師のことをいうのですか。」といった質問がありました。



9/22

【日時】9月22日（金）18：00～19：30

【場所】島根大学医学部みらい棟 4F ギャラクシー

【講師】斎藤 稔哲氏（宮城県気仙沼市立本吉病院 院長）

【テーマ】小規模多機能病院の未来

【概要】小規模医療機関は、余命3カ月～1年の人がハッピーに過ごせるための支えとなり、残りの人生を調整する役割を担っていることや食事に力を入れることで、入院前に訪問診療していた85-90%の患者が在宅に復帰でき、成果をあげていることを紹介いただきました。新たな試みとして、昨年より隠岐島前病院の白石先生から教わった肩峰下滑液包への注射による疼痛管理が本吉病院外来にも導入され、効果を上げていくことについても紹介いただきました。



ランチョンセミナー

【テーマ】自分のキャリアプログラムから学生さんに伝えたい事

【日時】7月18日（火）12：00～12：40

【場所】島根大学医学部みらい棟 2F 共通カンファレンス I

【講師】塩田 由利先生（島根大学医学部附属病院 検査部 助教）

【概要】神経内科医として、患者さんの全身所見から原因となる責任部位を推測する診療のおもしろさ、検査部での脳梗塞モデルのラットを用いた神経作用の研究等、仕事の様子を伝えていただきました。また、「妊娠・分娩に適切な年齢は20歳代、遅くとも35歳までに」という現実を考えると、専門医取得時期と適齢期が重なるため、女性が主導権を握って早期に結婚出産の計画を立てる必要性があること、結婚、独身、結婚が途切れる等、様々な生き方があるけれど女性医師としての生き方を貫いてほしいとメッセージをいただきました。



【日時】9月28日（木）12：00～12：40

【場所】島根大学医学部みらい棟 2F 共通カンファレンス I

【講師】岡崎 四方先生（島根大学医学部 卒後臨床研修センター 副センター長 講師）

【概要】穏やかな家族団欒の時間と精神病患者さんとの異次元の世界を行き来する精神科医の父の背中をみているうちに、興味深い「このギャップ」に引き込まれたのかもしれない。精神科の患者さんは厄介な存在として見られがちだが、生まれる時には皆と同じく親に待ち焦がれられて誕生し、期待されて育ったり、輝いていた時期があったはず。「病氣の人」という役割だけでなく、一生活者として様々な一面を我々と同じように持ち合わせていることを忘れないように接している。

目薬（見守ってくれる眼差し）の存在があつてこその日薬（時間薬）。岡崎先生のお話は家族愛、患者愛に満ちていました。



リレートーク



[第21回]

浜田市国保診療所連合体

あさひ診療所 所長 佐藤 誠氏

[あさひ診療所]

〒697-0426

浜田市旭町丸原138番地1



診察室に来ない人のことも考慮する

地域医療に長く携われる場所を探して島根県に来て4年半が経ちました。今まで5県で総合診療を学んできましたが、全国どこでも地域医療に求められることは一緒と感じています。私が地域医療を考えるときに「地域医療の5の軸」を拠り所としています。①患者によって自分を変える。②患者や問題の種類によって差別をしない。③生物学的問題だけでなく心理社会的問題を考える。④病気、ヒトのみならず家庭、地域を見る視点。⑤診察室に来ない患者も考慮する。地域医療に従事すればするほど、⑤が大切と感じています。医療機関に来る人だけでなく、地域全体のことを考える総合診療、本当に難しいですが楽しいですよ。我々も試行錯誤中です。これから挑戦出来る分野です。是非一緒にやりましょう。

今後の行事予定について

- 10月27日(金) 18:00~19:30
地域医療セミナー
場所：みらい棟 2F 共通カンファレンス I
講師：矢野彩子氏(寿生苑 言語聴覚士)
- 10月28日(土)
第14回総合診療ワークショップ
場所：講義棟 1F 国際交流ラウンジ
講師：木島 庸貴氏(島根大学医学部総合診療学講座)
- 11月9日(木) 12:00~12:40
ランチョンセミナー
場所：みらい棟 2F 共通カンファレンス 1
講師：伴 正海氏(厚生省医政局地域医療計画課 医師確保等地域医療対策室 病床機能報告分析支援専門官)
- 11月24日(金) 18:00~19:30
地域医療セミナー
場所：みらい棟 2F 共通カンファレンス I
講師：鈴木 賢二氏(町立奥出雲病院 院長)
- 12月15日(金) 18:00~19:30
ランチョンセミナー
場所：みらい棟 2F 共通カンファレンス 1
講師：増野純二氏(島根県立中央病院 地域医療科部長)

※ご参加希望の方は地域医療支援学講座までご連絡ください。おまちしております!!

地域医療支援学講座主催の セミナー等のご案内

支援学講座では様々なセミナーを開催しています。開催日程などが決まったらその都度、メール・facebook・HPなどでお知らせします。奮ってご参加ください!

お申込みは…

【E-mail】career@med.shimane-u.ac.jp
【TEL】0853-20-2558

セミナー案内メール受信をご希望の方はご連絡ください!

学生支援

- 地域医療セミナー・総合診療ワークショップ等
県内外の講師の貴重な話を伺い、意見交換をするセミナーを開催しています。
- 各種交流会(全体・学年別・地域別)
教員と学生および学生同士、地域との交流を目的として行います。学年別交流会は年1~2回行っています。
- 個別面談
地域枠等学生を対象に、単位取得状況や学生生活、困り事等、状況を把握するために、年1回程度の面談を実施しています。
- フレキシブル実習
学生のニーズに合わせて地域医療実習をコーディネートしています。

※その他、地域医療実習に関する講義(地域医療学等) 早期体験実習、

編集
後記

厳しい残暑が過ぎて、秋の気配が感じられる季節となりました。

あっという間に、今年度も半分が過ぎ今年もあと少しですね。一日いちにちを大切に過ごしていきたいと思います。

皆さま、どうかお体をご自愛ください。